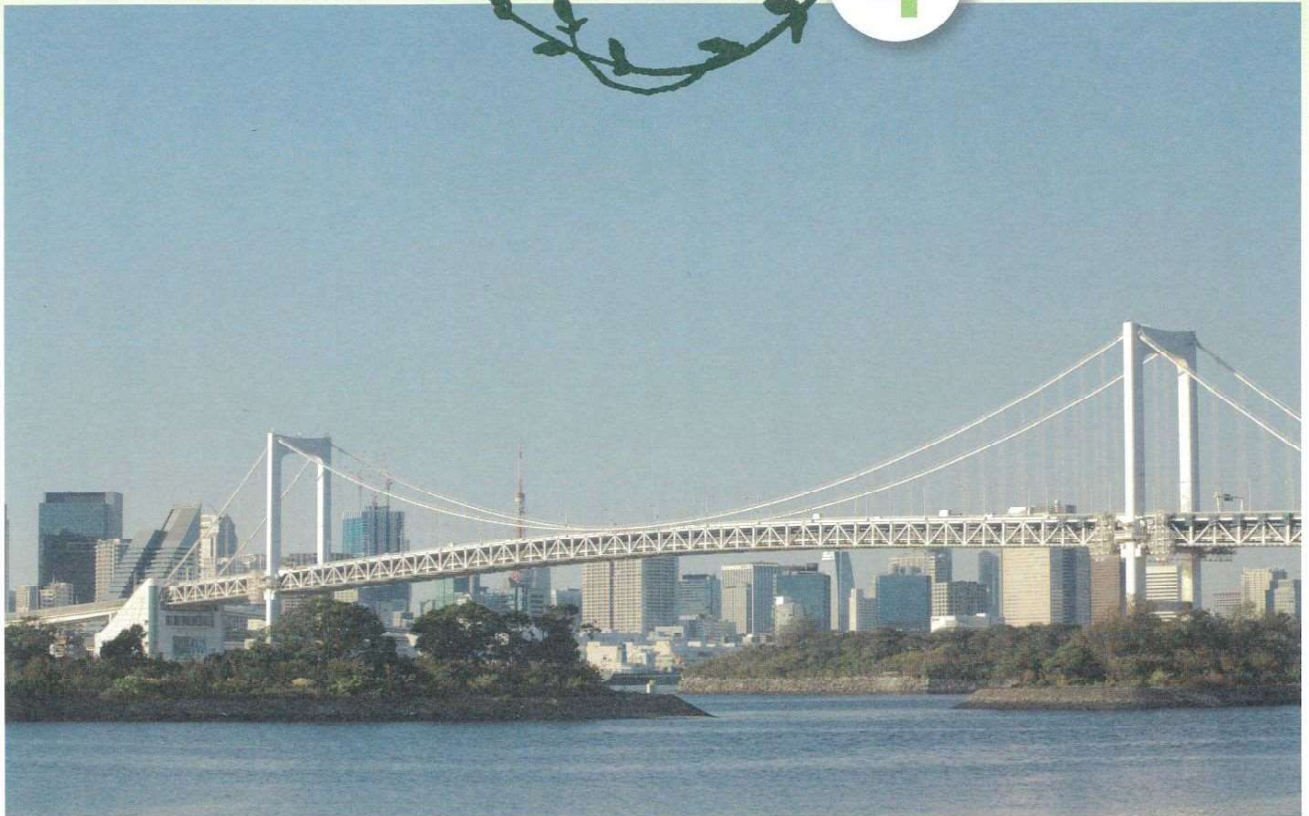


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



レインボーブリッジ(港区・江東区) 詳細は次ページ、ランドマークで!

今月の予定

4月

- | | | |
|--------|-------|---------------|
| 3日(日) | 午後2時 | 燈虹塾散策 |
| 6日(日) | 午後7時半 | 燈虹塾セミナー |
| 9日(土) | 午後5時半 | 同行会総会 法話:山崎住職 |
| 16日(水) | 午後1時半 | 定例聞法会 |
| 20日(水) | 午前11時 | 婦人会総会 |

5月

- | | | |
|--------|-------|-----------------------------|
| 1日(日) | 午後2時 | 中央ブロック会総会・聞法会 |
| 11日(水) | 午後7時半 | 燈虹塾セミナー |
| 14日(土) | 午後5時半 | 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く
法話:大橋 伊知郎 |
| 15日(日) | 午後2時 | 城南ブロック会総会・聞法会 |
| 18日(水) | 午後1時半 | 婦人会聞法会 |
| 21日(土) | 午後1時半 | 定例聞法会 |
| 22日(日) | 午後2時 | 城西ブロック会総会・聞法会 |

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

あなたまかせ

主体性もなく責任も取らない、「あなたまかせ」という言葉の語源は、実は阿弥陀まかせが変化したもの。様々な問題を抱える人生について、阿弥陀の教えを尋ね、阿弥陀の仰せにまかせて歩む。「阿弥陀仏」を「あなた」と親しんできた言葉。



4月の山門の言葉

我々が歴史から学ぶことは、
人間は決して歴史から 学ばないということだ
哲学者 ヘーゲル

連日ニュースで取り上げられるロシアのウクライナ
侵攻。新型コロナウイルスも落ち着かない中に飛び込
んできた、一大事である(三月二十日現在)。

改めて世界を見渡すと、今、戦争が起こっているのは
ウクライナだけではない。パレスチナを始め、イエメン
などの中東紛争や、ミャンマーやアフリカ大陸など、各
地で多くの紛争が起こっている。隣を見れば北朝鮮が
今年に入り、頻繁にミサイルを発射している。

戦争の始まりを調べると、武力を伴った集団間の戦
いは、北東アフリカにあるスーダン、なんと一万五千年
前であるようだ。以来、争いを繰り返す人間の歴史。一
体平和とは何か、また平和を願うとはどういうことか、
分からなくなる。

戦争は正義と正義の争いであると諸師から教わる。
善導大師が書かれた『歸三寶偈』には、「我等愚痴の身、
曠劫よりこのかた流転せり」とある。平和を願って争う。
流転、迷いの繰り返し、人間の歴史なのだ。

私たちが生きている今は、人間の技術・人知の歴史
の最先端、そして同時に、人類のいのちの歴史の最先端
である。流転するのは「人知」という名の煩惱で、「いの
ち歴史」はこの私を生かす。その相反する二つの歴史が
私を実らせているのだ。

人間が間を失い、関係存在であるこの身を忘れ、私を
単に個人と想っている。しかし私という存在を生み出
した背景がある。そこには多くの争い、そして平和への
祈りを捧げてきた人々がいる。その背景、いのちの歴史
に背を向けている自分に出会った時、初めて我が身に
宿る歴史との向き合い方が課題となるのだ。

(仲井 真裕 記)

ランドマーク

地域のランドマークを訪れ、紹介する新コーナー、ランドマーク。
初回は港区芝浦からお台場を結ぶ吊り橋、「レインボーブリッジ」で
す。レインボーブリッジは一般公募により決められた名前で、正式名
称は「東京港連絡橋」といいます。1993年8月26日に開通して以来、
東京のランドマークの1つとして愛されています。

通行路は2層構造で、上層には首都高速11号台場線、下層には中
央にゆりかもめ、両側は一般道が通っています。

実はレインボーブリッジは歩いて渡ることができます。一般道の外側に歩道があり、散歩やジョギン
グ等、普段から利用している人も少なくありません。2月11日に開催した、西徳寺の散歩会で、私も初め
て歩いて渡りました。

暖かくなってきた春、皆様も一度歩いてみてはいかがでしょうか。

(仲井 真裕 記)



芝浦側 上機嫌な住職



下層部遊歩道

うばだいしゃ ～共悩共歩～

テーマ「時代」

優婆提舎(うばだいしゃ)論議の意。
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。
(例:浄土論=無量寿経優婆提舎願生偈)

【家族を通して考える「時代」】

今回は西徳寺ご門徒、齋藤文雄様・晴美様ご夫妻に、「時代」をテーマとしてお話をうかがいました。

齋藤様とは、お姉様とお父様のご葬儀を勤めさせていただいた事をきっかけに、親しくさせていただくようになり、今回のご縁となりました。

齋藤様ご一家は、お盆・お彼岸やご命日に家族揃って夫婦両家のお墓参りをされており、お子様が小さい頃から続けられているそうです。現在ご長女は大学生で、ご長男は高校生になっておられますが、今も変わらず西徳寺にはご一緒にお見えになっておられます。

齋藤様曰く、「お墓参りは家族とのコミュニケーションを取れる時間でもあり、またご先祖があつてこそその家族であるということ、改めて感じられるような機会じゃないかな」と仰つておられ、お子様に上手く伝えてこられたのだと感じました。



「特に今の時代は、他者との関わりを自ら絶つていくというか、個人的になりがちな時代の中で、先祖・両親の存在が非常に大切だと思うな」と、改めてお教えいただいたように思います。

また、「コロナ禍になって大変ではあるけれど、家族と過ごす時間が増えたことは貴重だと思うよ」とも仰つておられました。齋藤様ご夫妻は、「とにかく色々な行事は家族と一緒に」という思いを中心に、これまでも、そして、これからも、家族仲良く過ごされることと思います。

余談ですが、文雄様とご長女様はギター演奏という共通の趣味をお持ちで、いつか親子共演が実現するのであれば、是非ともお声がけいただきたく思っております。



趣味のギター



聞き手 大橋 伊知郎

春季永代経法要

2カ月半ぶりにまん延防止措置が解除された3月22日、春季永代経法要を勤修いたしました。

勤行の後、^{よしぶくしゃちゆう}聖徳太子奉讃会として、吉福社中による演舞と、当寺合唱団「エコー」の指揮者である古澤利人氏とピアノ演奏者である金澤麻里子氏による歌の奉納をいただき、その後、厳かな雰囲気の中、3年ぶりとなる本山差向布教を、鹿児島県 清立寺の藤代竹哉布教使よりいただきました。

法話の中で藤代師は、「私たちは日常、知恵を絞って生きている。その知恵を正しいと握りしめた時、誰かを悪者にし、未来を濁らせることになる」。また、「仏様は私たちの上にはいらっしゃるのではなく、足元で私たちを支えてくださる存在である」と、ご自身の僧侶・会社員としての経験、また家族との関わりを通して、人間として生きるとはどういうことかを教えていただきました。
(仲井 真裕 記)



聖徳太子に扮した吉福百合之介氏



「天子の唄」を歌う古澤利人氏



本山差向布教 藤代竹哉師

寺務所席替え

寺務所内の席替えをいたしました。それに伴い、寺務所の突き当たりのお部屋を各ご相談のお部屋のほか、大谷最高顧問常駐のお部屋とさせて頂きました。

また手前にはソファとテーブルのスペースもあり、ご好評をいただいております。お茶を飲みながら大谷さんとお話し・・・なんていかがでしょう。皆様どうぞお気軽に遊びにお越しください。

西徳寺住職 山崎 哲



仏具磨き

3月4日(金)、春季永代経法要に向けて恒例の仏具磨きをしました。コロナの影響で職員のみとなりましたが、天気にも恵まれて仏具をきれいに磨くことができました。コロナが治まり、また有志の方と共に磨きができることを願っています。

(蓮井 邦宗 記)



燈虹塾オンラインセミナー

江戸伝統文化推進^{とうこうしゆく}燈虹塾は、西徳寺にほど近い江戸吉原を中心に残された文化を、正しく学び・愛で・普及することを目的とした会です。現在はコロナ禍を受けて毎月オンラインにて開催し、先日は代表・日比谷孟^{ひびやたけとし}俊と理事を務める浮世写真家・喜千也による対談が行われました。

一言に江戸時代といっても実は約250年。例えば女性の髪型一つとっても時代ごとに異なるのは容易に想像できます。それでは、具体的にどのような変遷を辿ったのか?浮世絵などを手がかりにした考察により、流行の裏には様々な背景があることが見えてきました。

文化を学ぶことで、当時の生活ぶりが垣間見え、また現代を映す鏡にもなるのだと感じました。当会はどなたでもご参加いただけます。ぜひ共に学びましょう。(高橋 淳 記)



セミナーに使われた「あづま物語」

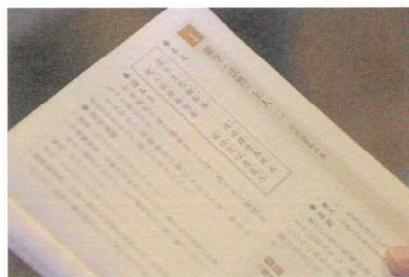
城北ブロック会聞法会

3月6日(日)、西徳寺本堂におきまして、聞法会を開催いたしました。コロナ禍にも関わらず初参加の方3名、会員16名のご出席をいただきました。

親鸞聖人が著された『正信偈』の「疑情」という言葉をキーワードに、ウクライナで戦争が起こっている中、平和とは、平等とは何か。私たち人間の本质について考えさせられる時間を、皆様と共に過ごすことができました。

次回は6月12日に総会・聞法会を開催する予定です。ぜひお気軽にご参加ください。

(担当 仲井 真裕 記)



「聞法テキスト正信偈」



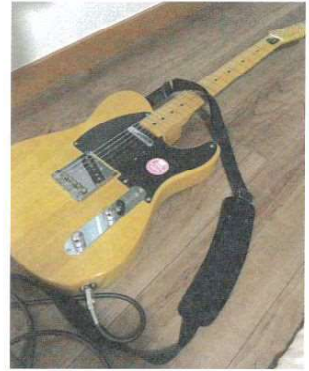
坊さんのツブヤッター

@JUNEN



コロナ禍で趣味のバンド活動がストップしてしまい長らく楽器からも遠ざかっていたけど、久しぶりにギターを弾いたら楽しい！まだバンド活動は様子見だけど、再開しても余裕で弾けるように練習あるのみ！

#弦がサビだらけ #ピアノも埃だらけ
#楽器さんごめんなさい #念入りにお掃除しました



ギターの弦を張り替えました

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

えこお志お礼

新潟県 梵行寺 様
品川区 木原 麗子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



先日3回目のワクチン接種を受けました

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を顕す～

新年度となり、当紙『えこお』に新コーナーを設けることになりました。

1つ目は「ランドマーク」。地方出身者ばかりの西徳寺職員が、東京近郊にある地域の象徴、ランドマークを訪れ、ご紹介いたします。

2つ目は「うばだいしゃ」。以前掲載していた対談コーナー「群生海」をリニューアル。1つのテーマについて対談し、皆さんと一緒に考えるコーナーです。

「毎月の『えこお』、楽しく読んでよ」という声をいただき、半分ニヤニヤ、半分プレッシャーを感じながら編集しております。コロナ禍の今、ささやかながらお寺と皆さんの橋渡しができればと願っております。今年度も当紙をご愛読いただければ幸いです。

(編集長 仲井真裕)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook